水需給バランスの点検（4県合計）1/2（水道用水、工業用水）

参考4-4 再掲

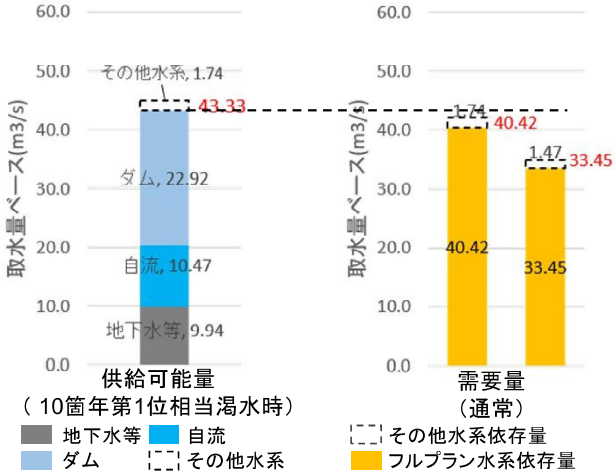
※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

渇水リスクの分析・評価

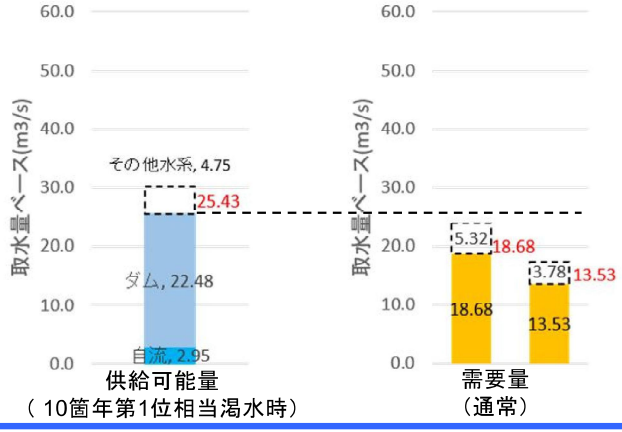
10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

水道用水 領域A



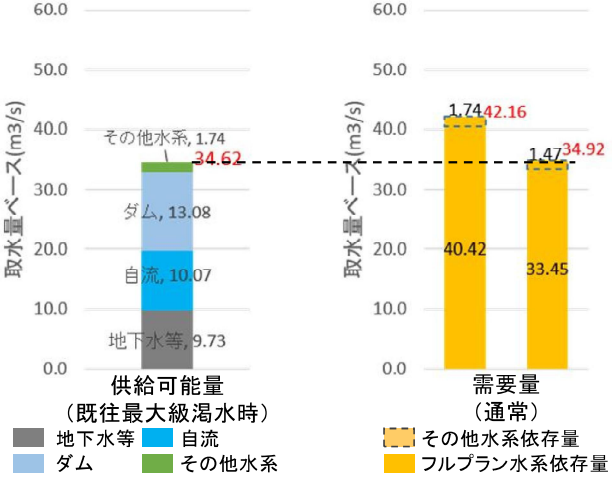
工業用水 領域A



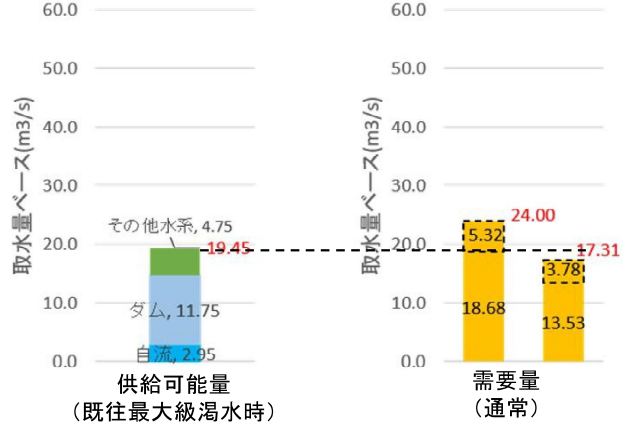
危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

領域C



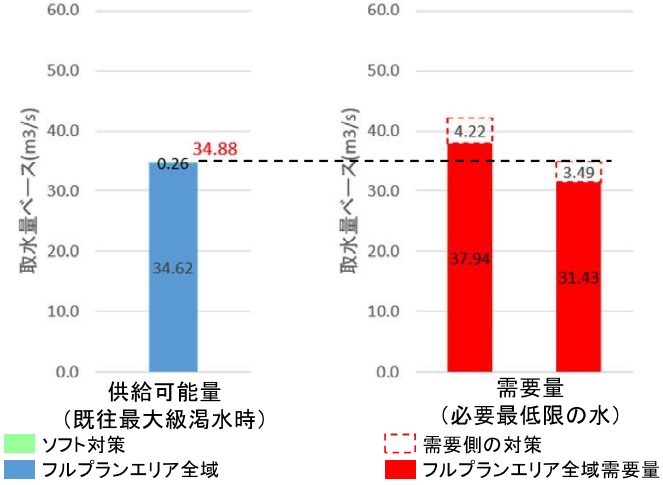
領域Bc



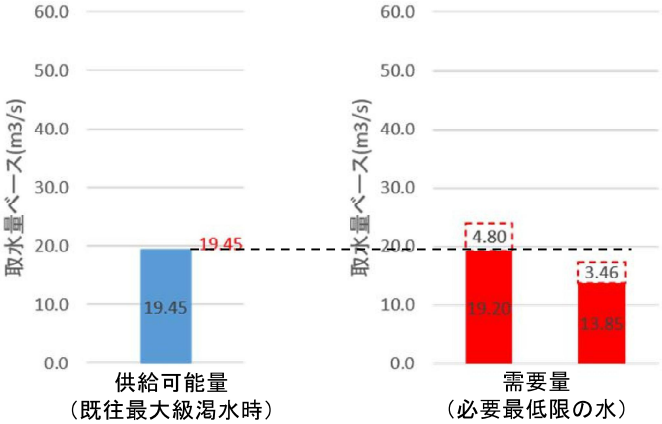
危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域Bb



領域A



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

水需給バランスの点検（4県合計）2/2（都市用水）

再掲

※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

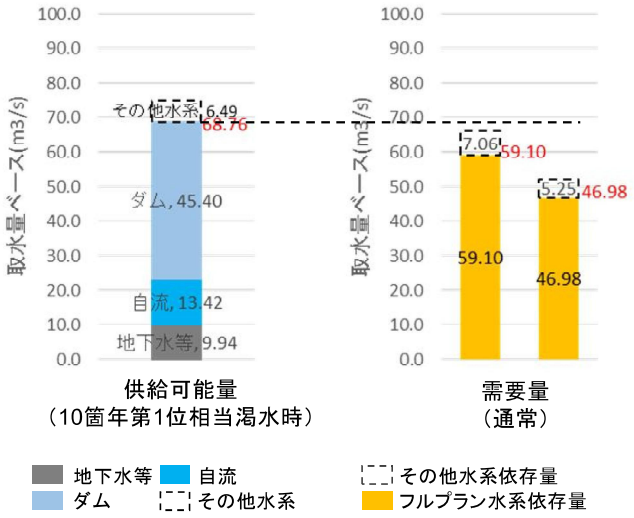
渇水リスクの分析・評価

10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

都市用水（水道用水＋工業用水）

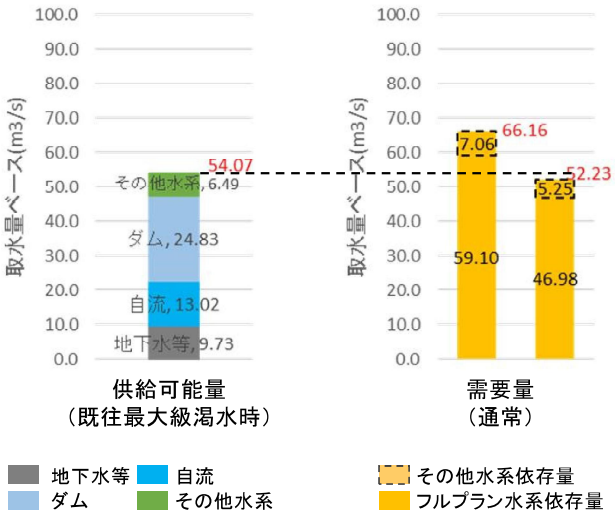
領域A



危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

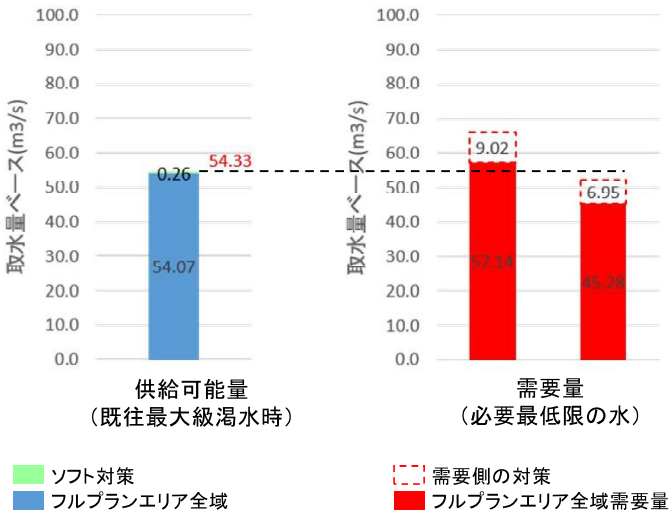
領域Bc



危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域Ba



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

供給可能量が、10年に1度程度の渇水時には、需要の見通しの高位の推計を上回る状況であるが、危機的な渇水時においては、需要の見通しの高位の推計を下回り、低位の推計を上回る状態となっている。新たなハード・ソフト対策を適時検討していくことが望ましい。

ただし、実際の施設運用においては、中長期的な降雨状況が正確に予測できないため、渇水の懸念がある場合には、早めに取水制限等の渇水調整を開始し、段階的に強化する。そのため、実際の供給量は供給可能量を下回ることがある。

水需給バランスの点検（長野県）1/2（水道用水、工業用水）

再掲

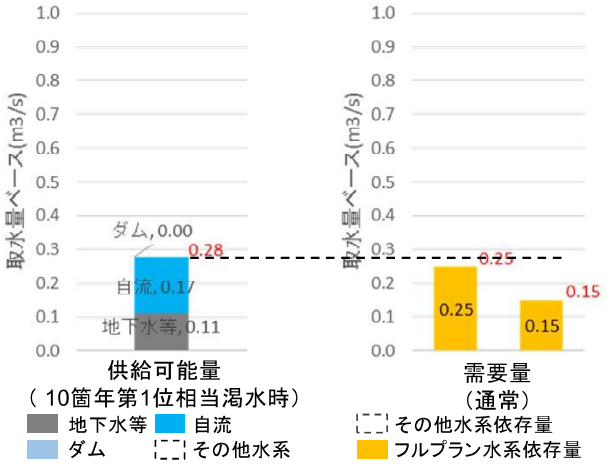
※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

渇水リスクの分析・評価

10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

水道用水　**領域A**



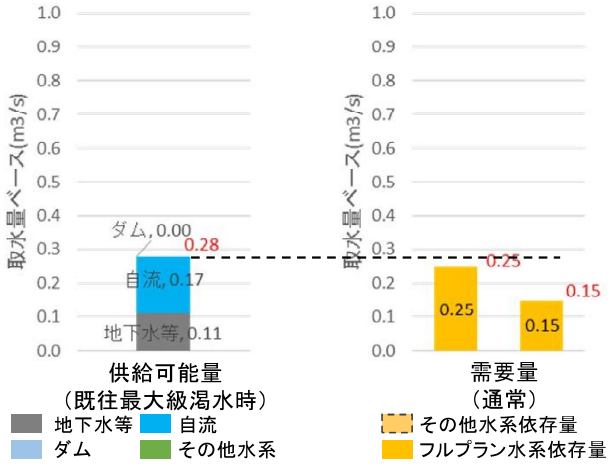
工業用水

指定水系からの供給なし

危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

領域A

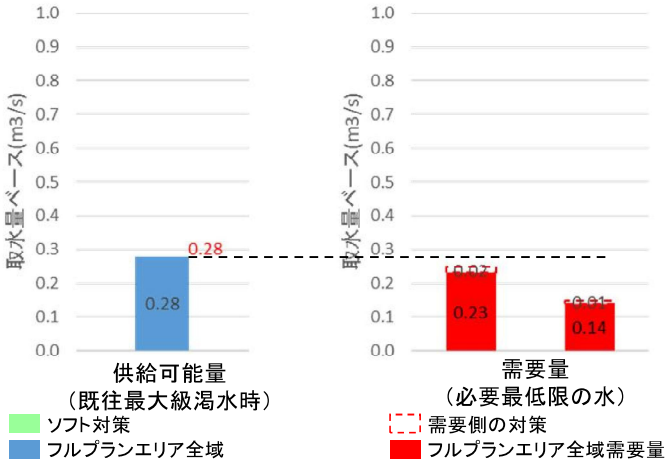


指定水系からの供給なし

危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域A



指定水系からの供給なし

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

水需給バランスの点検（長野県）2/2（都市用水）

再掲

※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

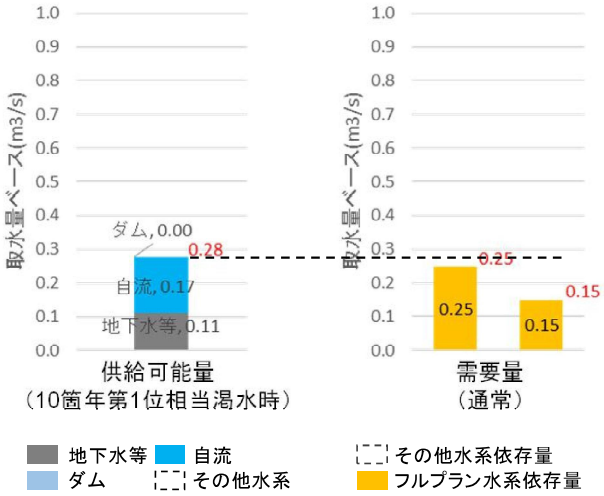
渇水リスクの分析・評価

10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

都市用水
（水道用水＋工業用水）

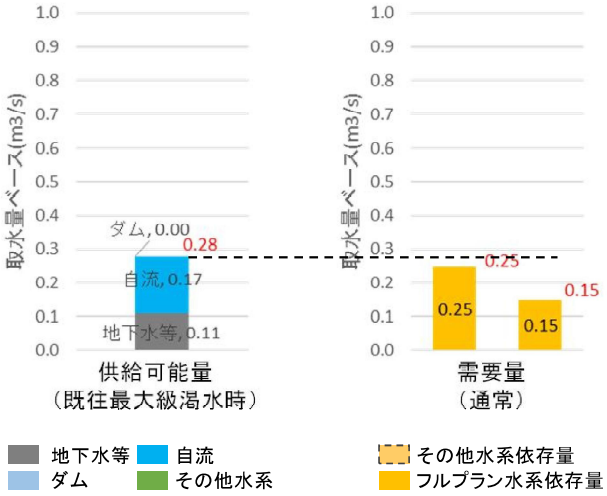
領域A



危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

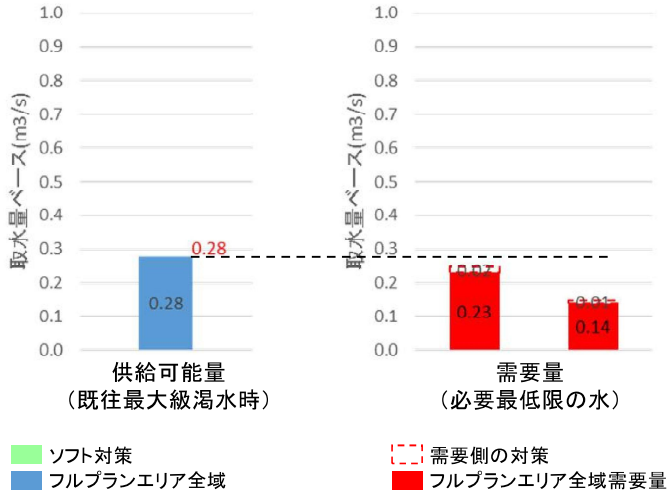
領域A



危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域A



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。
※長野県の都市用水については、水道用水のみが対象である。

水需給バランスの点検（岐阜県）1/2（水道用水、工業用水）

再掲

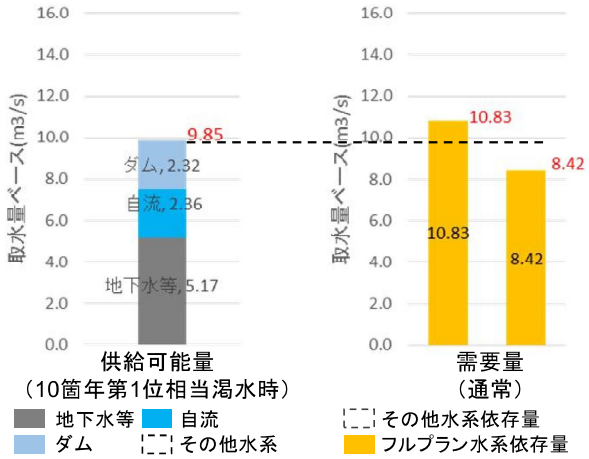
※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

渇水リスクの分析・評価

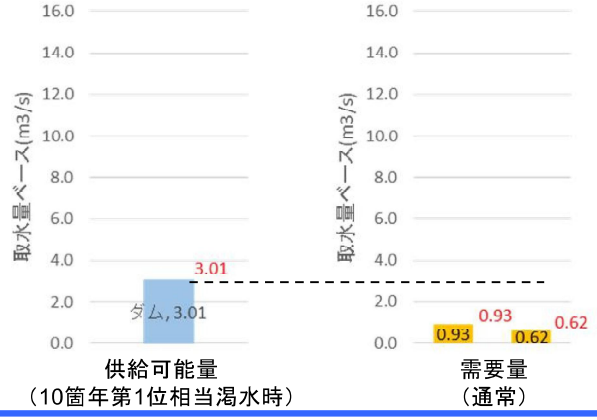
10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

水道用水　領域Bb



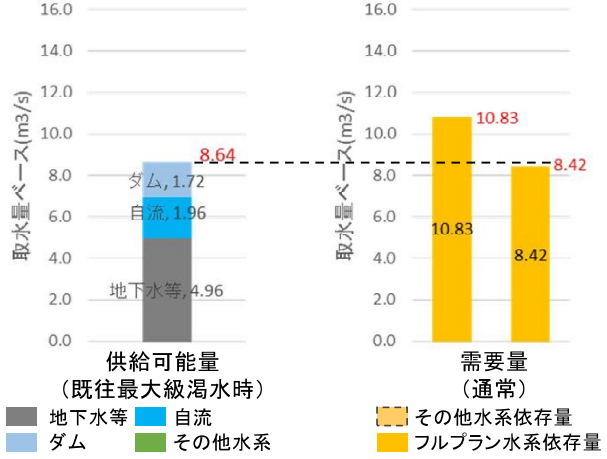
工業用水　領域A



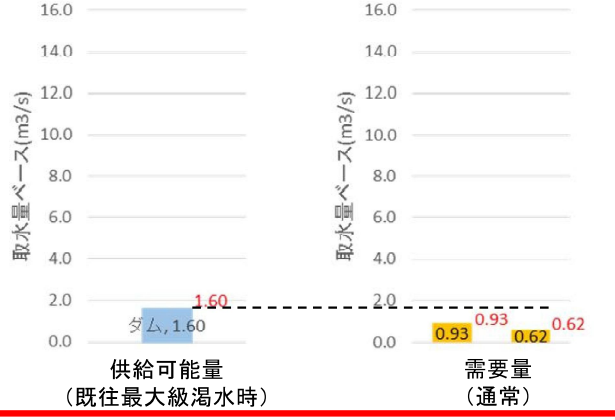
危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

領域Bc



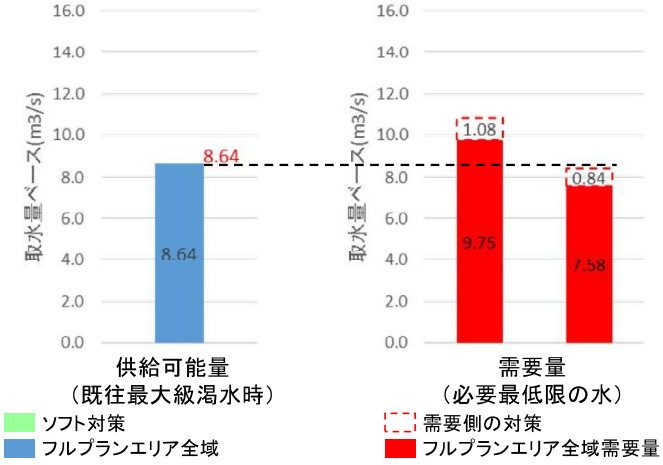
領域A



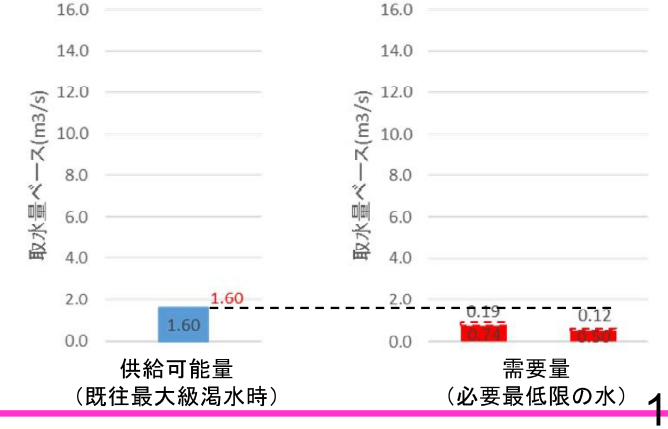
危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域Bb



領域A



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。　※水道用水は、通常時はその他水系からの供給があるが、10年に1度程度や危機的な渇水時には供給が見込めないため、「0.00」として示している。

水需給バランスの点検（岐阜県）2/2（都市用水）

再掲

※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

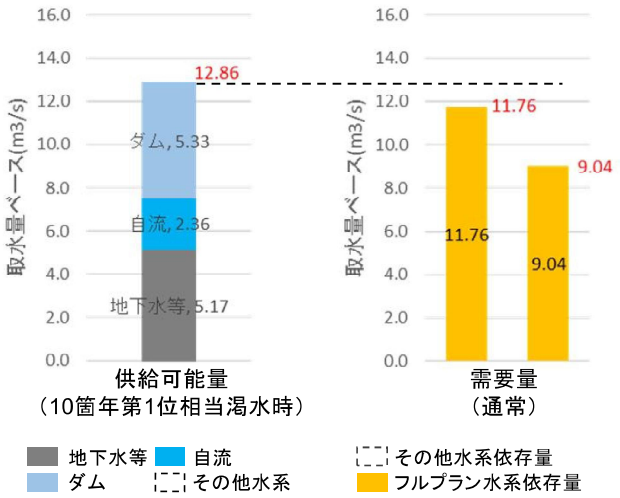
渇水リスクの分析・評価

10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

都市用水
（水道用水＋工業用水）

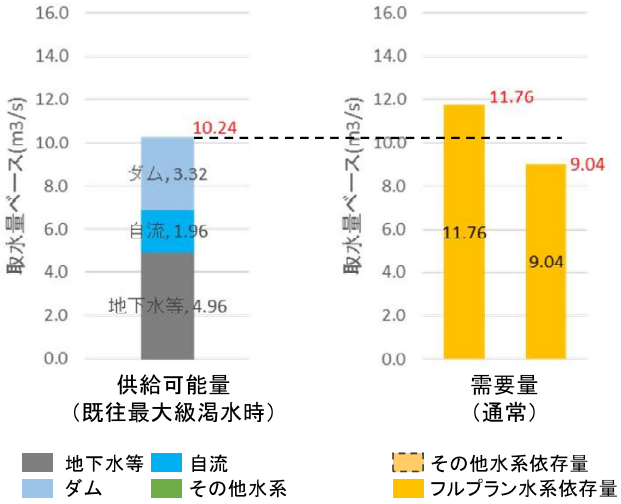
領域A



危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

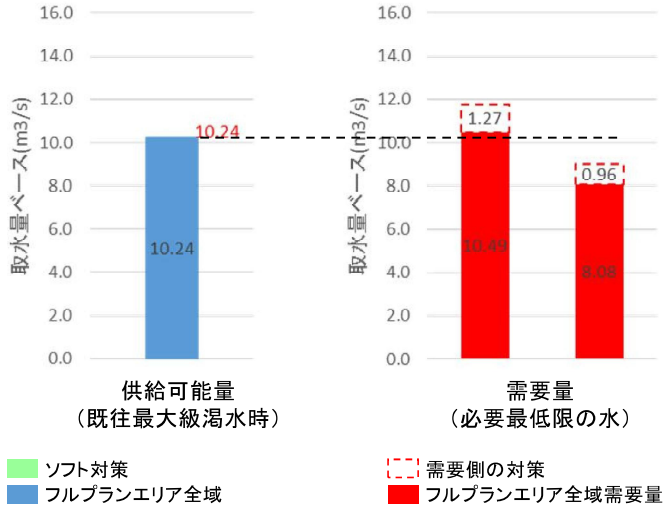
領域Bb



危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域Ba



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

水需給バランスの点検（愛知県）1/2（水道用水、工業用水）

再掲

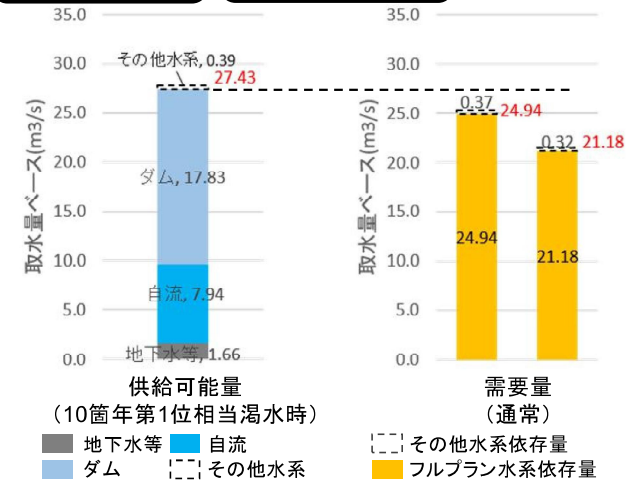
※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

渇水リスクの分析・評価

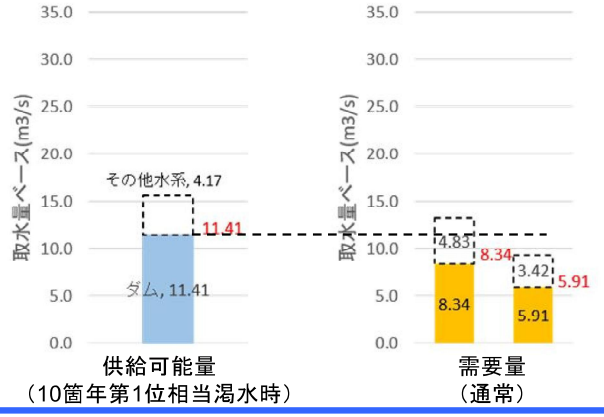
10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

水道用水　領域A



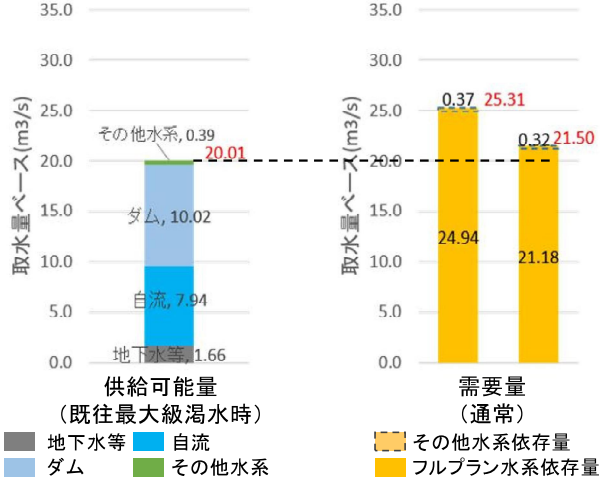
工業用水　領域A



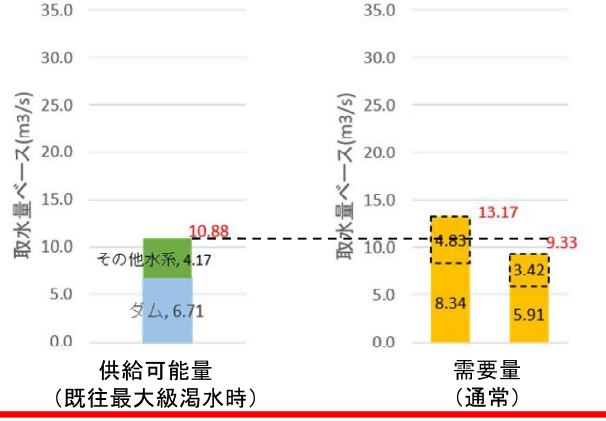
危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

領域C



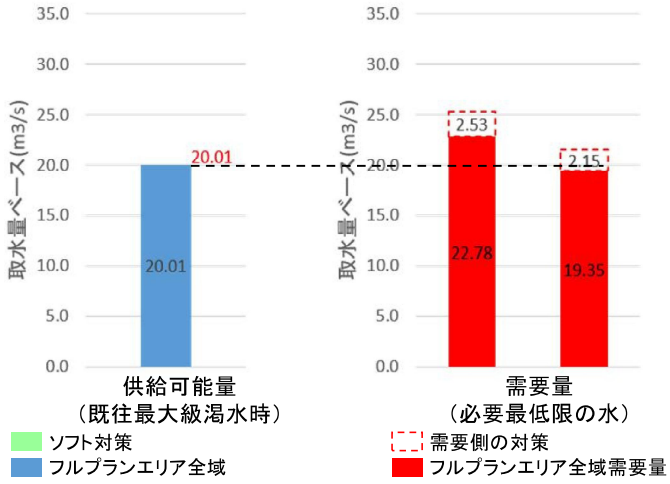
領域Bb



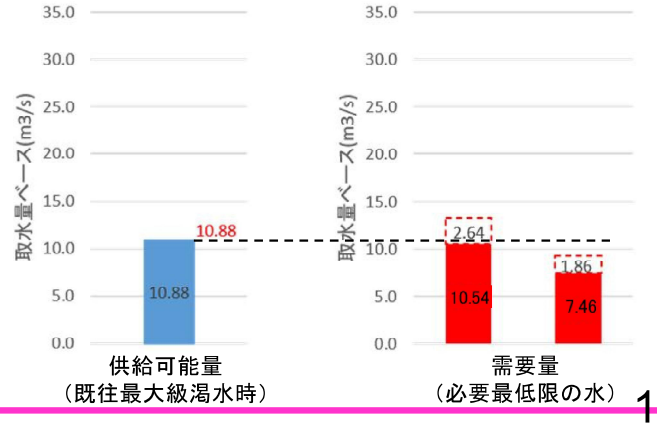
危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域Bc



領域A



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

水需給バランスの点検（愛知県）2/2（都市用水）

再掲

※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

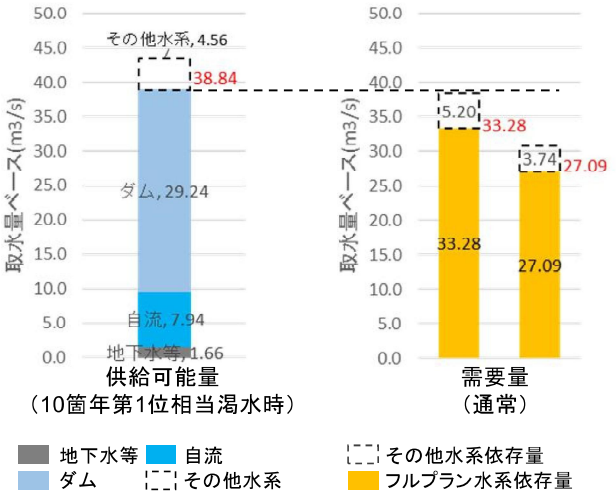
渇水リスクの分析・評価

10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

都市用水
（水道用水＋工業用水）

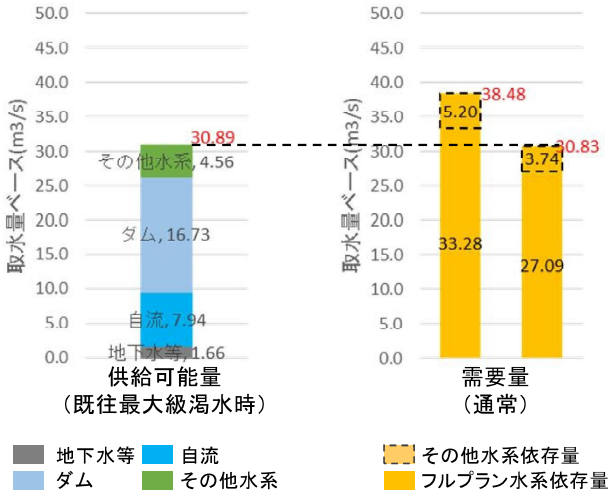
領域A



危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

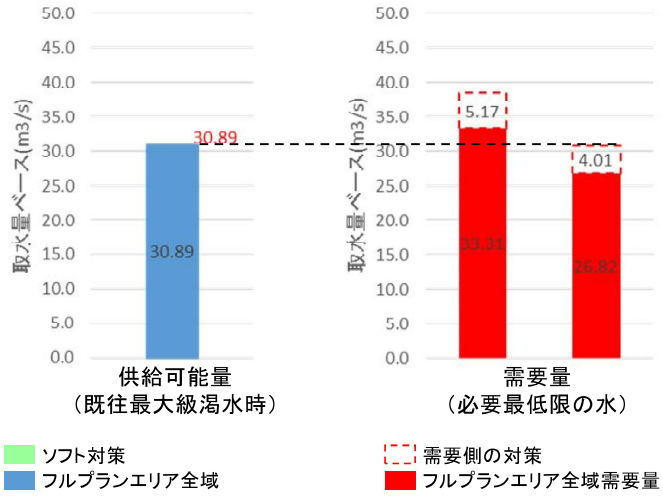
領域Bc



危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域Bb



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

水需給バランスの点検（三重県）1/2（水道用水、工業用水）

再掲

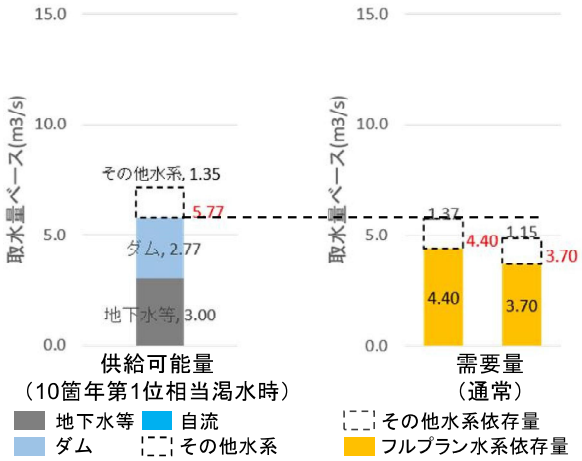
※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

渇水リスクの分析・評価

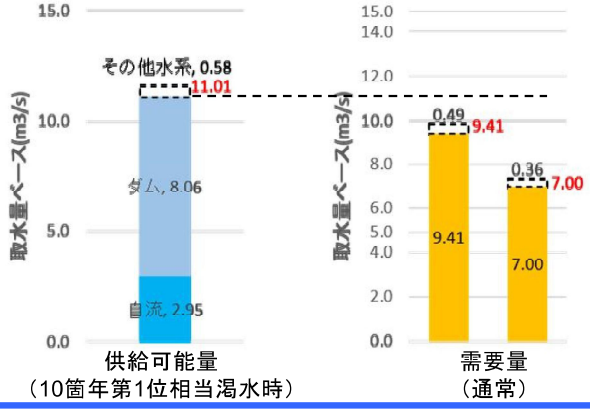
10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

水道用水 領域A



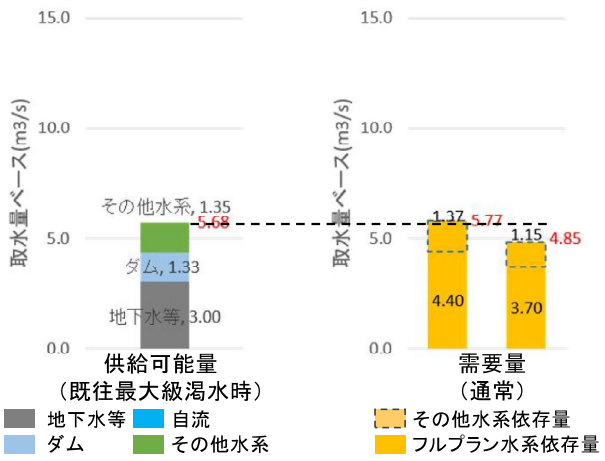
工業用水 領域A



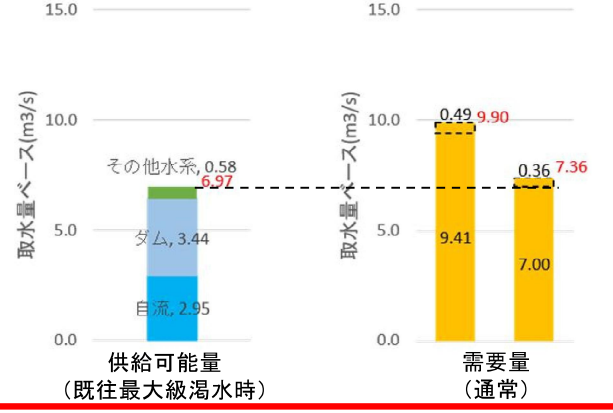
危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

領域Ba



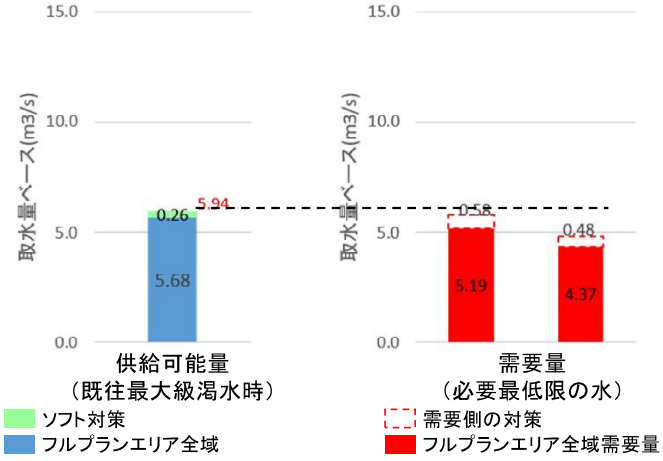
領域C



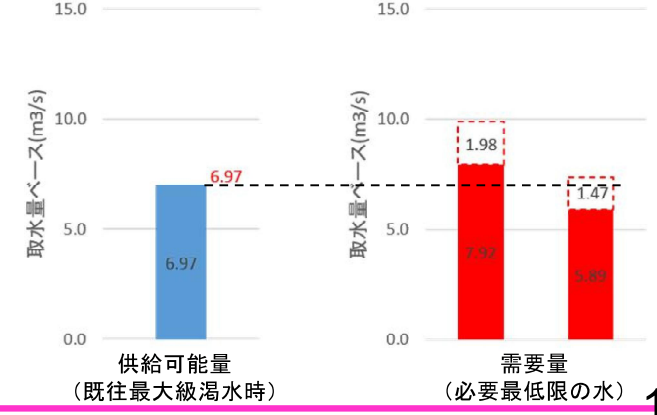
危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域A



領域Bb



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。 ※水道用水は、通常時はその他水系からの供給があるが、10年に1度程度や危機的な渇水時には供給が見込めないため、「0.00」として示している。

水需給バランスの点検（三重県）2/2（都市用水）

再掲

※供給可能量とは、一定の前提条件下でのシミュレーションをもとにしたものであり、ダム等の水資源開発施設の容量を最大限活用できるとした場合において、河川に対してダム等の水資源開発施設による補給を行うことにより、年間を通じて供給が可能となる水量である。そのため、実際の運用による供給量とは異なる。

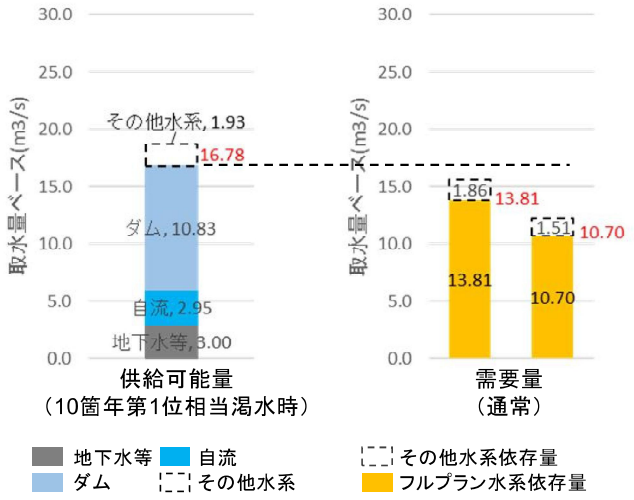
渇水リスクの分析・評価

10年に1度程度の渇水時

指定水系内のダム及び自流・地下水からの供給可能量と、平常時の指定水系に依存している需要量を比較

都市用水
（水道用水＋工業用水）

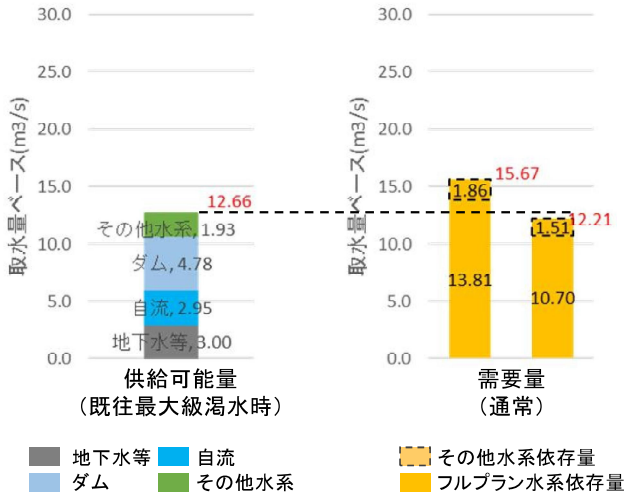
領域A



危機的な渇水時

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（通常）を比較

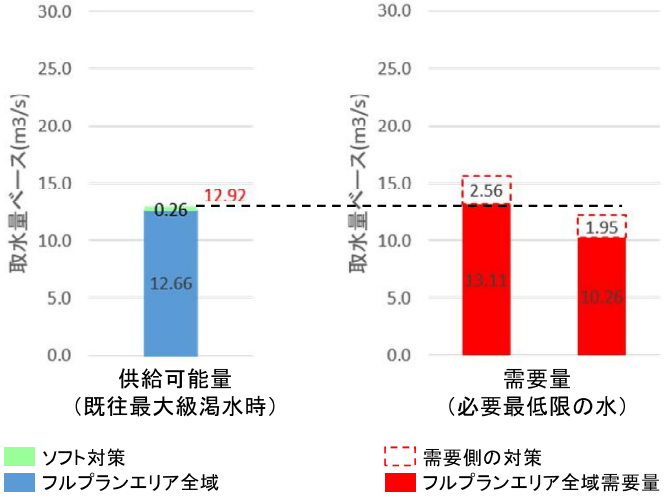
領域Bc



危機的な渇水時の対策

「他水系」を含めた供給可能量と、フルプランエリア全域の需要量（必要最低限の水）を比較

領域Ba



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。